

令和元年第2回東京高輪病院地域協議会 議事要録

1. 日 時 令和2年2月13日(木) PM7:00~8:00
2. 場 所 東京高輪病院4階会議室
3. 出席者 地域協議会委員 22名出席
代理出席 目谷淳高輪消防署警防課救急係統括(警防課長代理)

欠 席 高輪地区高齢者相談センター管理者
4. 要 旨 (●:委員からの意見等、・:当院からの報告等、➤当院からの回答等)
 - (1)開会あいさつ
 - (2)報告事項
 - ①前回議事概要の確認と進捗報告について
 - ・資料「令和元年第1回地域協議会議事要録」に基づき報告があった。
 - (3)議題
 - 地域包括ケア病棟活動状況について
 - ・資料により説明。
 - ・地域包括ケア病棟の相談・新規入院の件数は平成28年の開設から4年目をむかえ年々増消している。
 - 1 1月から地域包括病棟を2病棟としたことから相談・新規入院件数が増加している。
 - 相談件数の3~4割が入院に結びついている。
 - 特に12月は飛躍的な増加で、過去最高の46件の入院となった。
 - 相談件数は現在266件で昨年の500件を上回る勢いで推移している。
 - 相談はレスパイトとリハビリ目的が多いが、病院からはリハビリ目的の相談が多く、医療機関外と診療所はレスパイトの相談が多い特徴がある。
 - 依頼先の割合は急性期の病院が多く、リハビリ目的の入院が多い。
 - 入院患者の住所は港区、品川区が多く、品川区は医療機関との連携協定が影響している。
 - 受入の割合については、当初に院外6院内4であったが平成30年に逆転して現在はほぼ同率になっている。
 - 今後もたくさんの相談をお願いしたい。
 - 地域包括ケア病棟の増棟に伴って、医療従事者と患者向けにお送りした地域包括ケア病棟の案内用パンフレットを拝読願いたい。
 - 令和2年1月が減少しているのは、暖冬の影響で風邪の患者が少ないのが原因なのか。
 - 原因の一つではないかと考えている。

●港区でも、港南と赤坂に2つの療養相談窓口を設けて、さまざまな相談に対応している、また、病院の力になればと思っている。

●地域包括ケア病棟が出来てありがたい。

○救急受入状況について

・資料により説明。

資料の上段は時間外に受け入れた患者の推移、グラフは赤が救急車、青は救急車以外の受け入れを示している。

時間外患者数は平成30年度の年間で4,600名、令和元年度の1月まででは3,388名で減少傾向であるが、救急車の割合が41.6%と高いことは積極的に救急車の受け入れを行っていることを示している。

下段は時間外に入院した患者の推移、グラフは赤が救急車、緑は救急車以外の患者の入院を示している。

入院患者数は平成30年度の年間で1,134名、令和元年度の1月まででは845名で減少傾向であるが、救急車の割合が60%前後と高くなっている。

国際部があることで外国人の受け入れが多い。日中は200件/月 夜間は15件/月となっており、夜間はポケットークを利用している。

●救急車の出場件数は、令和元年が825,933件、平成30年が818,062件と増加しています。

高輪病院の救急車の応需率は東京都の平均より高くかなり協力してもらっている。

反応も対応も早いことは地域や救急隊にとって大変助かっている。

○診療（病々）連携の状況について

・資料により説明。

資料の上段のグラフは当院に受診した患者数で過去3年間の対比で今年度は1月末までとなっている。

見方を変えて、昨年と今年度の月平均で対比すると以下の結果となった。

下段のグラフは紹介受診し当日に入院した患者数となっている。

同様に昨年と今年度の月平均で対比すると日本赤十字社医療センター以外は紹介受診した数は増加、日本赤十字社医療センターと牧田総合病院以外は紹介受診当日入院した数は増加となった。

○市民公開講座開催状況について

・資料により説明。

19回は令和元年9月14日に「知っておきたい腎臓の話」で開催して185名の参加

20回は令和元年12月14日に「おしっこがもれるようになったら？」で開催して194名の参加

があった。

次回は令和2年3月14日に「糖尿病と眼」で開催する予定。

○令和元年11月19日港区総合防災訓練について

・資料により説明。

平日の夜間の想定で12病院同時に訓練を実施した。

令和元年11月19日（火）17時00分開始、みなと保健所との通信訓練、医師会との連携によるトリアージ訓練を参加者50人で実際にテントを設営して訓練した。

詳細は写真で説明した。

●消防団の活用も検討してほしい。町内会の参加も願います。

○訪問看護ステーションについて

・資料により説明。

開設してから順調に患者数は維持している。

令和元年5月から訪問リハビリも開始した。

利用者の主治医も当院以外の方が多くなっている。

利用者の年代は70～90歳が中心となっている。

介護保険の利用状況は要介護1・2の方が多い、要介護4・5は、主にターミナルの方で人数的には多くない。

認知症で独居または老老介護などで薬の管理が大変な方や日常生活に何らかの支障をきしている方、がんの治療をしたり、ターミナルでも家で生活したい方など困る前から介入することが可能です。

●介護保険の利用状況について、今、港区では地域福祉計画（6年間）を作成している。

2025年には団塊の世代が後期高齢者となり要介護1～5の人が増加する中対応策を検討している中、訪問看護ステーションに協力をお願いする。

(3) その他

●新型コロナウイルスについては隔離することを含めどんどん対策を行ってほしいと考えている。

○次回開催日時について

・次回は令和2年9月10日（木）19：00～を予定する。

(4) 閉会挨拶

(了)